

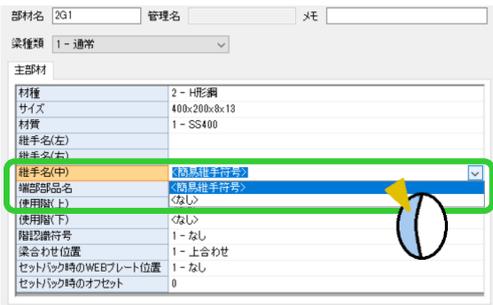
柱や梁の継手名を後でまとめて登録したい！

〈簡易継手符号〉を使用すると後から一括で継手名が登録できます

柱や梁の部材マスター登録時には継手名を設定せず、継手マスターで継手を登録する時にまとめて継手名を設定したい場合は から〈簡易継手符号〉を選択します。

例) 大梁マスターの『継手名(中)』で
〈簡易継手符号〉を選択する場合

例) 小梁マスターの『継手名(左)・(右)』で
〈簡易継手符号〉を選択する場合



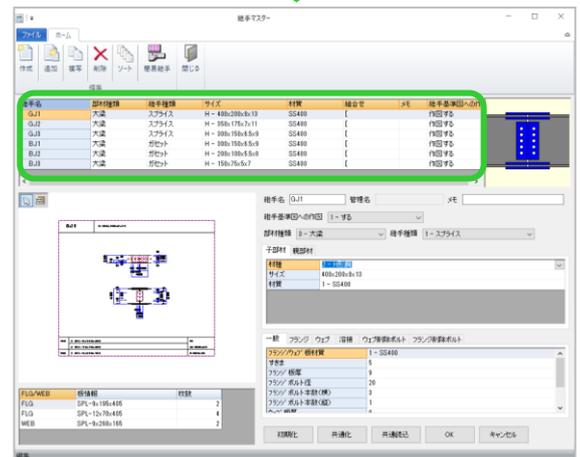
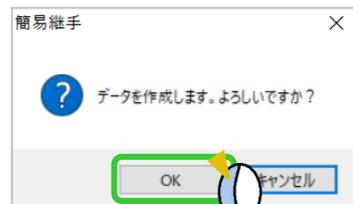
〈簡易継手符号〉を選択した場合は、継手マスターに最初は何も表示されません。

継手マスターの【簡易継手】をクリックします。



継手名を設定したい部材のタブをクリックし、『接頭語』と『カウンタ』をそれぞれ設定し【作成】をクリックします。確認画面で【OK】をクリックすると、継手マスターに継手が追加されます。

例) 梁のスプライスはGJ1、GJ2・・・、ガゼットはBJ1、BJ2・・・と設定したい場合



【簡易継手】の【作成】を行うと、共通読込のリストの一番上のデータが自動で取り込まれるため、ご注意ください。
特にスプライスはすきまが 5mm のものがリストの一番上にあるため、必ずデータを確認し、必要に合わせて修正してください。